



Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of
Rotary International District 260

District 260 R.I. Governor

KOICHI OKUMA

c/o The Nagoya Kanko Hotel

1-19-30 Nishiki, Nakaku, Nagoya, Aichi, Japan 460

Phone: 052-231-7711 (Ext. 527)

国際ロータリー第260地区ガバナー 大隈孝一

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号 名古屋観光ホテル内 Phone: 052-231-7711 (内線527)

MANKIND IS ONE
人類はひとつ

Build Bridges of Friendship Throughout the World
世界中に友情の橋をかけよう

① 12月11日
② 世界社会奉仕



雪山に映える河童橋

ロータリーの運営 …不連続の連続… ガバナー 大隈 孝一

ロータリー運営の最も大きな特長は、各クラブとR.I.との間に、わずらわしい中間組織がないことと、ガバナーや会長、幹事などの役員が、1ヶ年で交代することだと思います。

ガバナーは中間組織といえるかも知れませんが、実際は、とりまとめのお手伝い役であり、特別の権限のあるものでもなく、それぞれのガバナー事務所も1ヶ年で閉鎖されます。このことは、他のいろいろな団体と比べてみれば、よくわかることであり、無駄な時間や経費の軽減になると共に、間違いも少なくなります。ガバナーが、決裁の権限をもつような事務組織でないことは、まことによいことだと、つくづく感じております。

Keep Rotary SimpleといったR.I.の大先輩があるそうですが、まことに至言であります。

ロータリーの奉仕活動については、画一的で、

漫然としたものが、多いということがよく指摘されます。また、各役員が1ヶ年毎に交代するということは、ようやく少しわかりかけたところで任期が終わりますから、迫力がなく、連続性に欠け、何かと都合の悪いこともあると思います。

しかし、大局的にみれば、毎年、役員がかわるという不連続の中で、良識あるロータリーの伝統は、徐々に時代と共に変化をとげながら、新しい活力をもって、受け継がれているといえます。まことに味わいの深いところでもあります。

要するに、中間組織がなくて、このような微妙な“不連続の連続”こそが、ロータリー運営の特長であり、今後の発展のポイントであると思います。従来からの固定概念だけに没入していると、結局は、環境の動きからとり残され、ロータリーの将来も、望み少いものになるような感じがします。

金理事長とタクシー運転手の話

ロータリー・日韓親善委員
バスターガバナー

川瀬 保

日韓親善—それは任重く、道遠き課題である。昨年4月、ソウルでマッキヤフリーR.I.会長主催の親善会議が持たれたが、今年は4月に神戸で開催の予定。心すべきは、親善は論議を重ねることではなくて、手近かな実践である。例えば—。

ソウルの白山学園理事長の金先生と大同学園理事長の私とは、仕事を抜きにして、人間的に浅からぬ縁(えにし)につながれている。一昨年訪韓の節、先生が出しぬけに「川瀬さん、私は親日家です」と切り出された。それから約1時間、感動に満ちた話を戴いた。

先生は年2回位、東京へ行く。それは新刊書の買出しのためである。この間も行ってきたが、仕事を終え、タクシーで東京駅へ向かう途中、皇居前にさしかかった。先生はふと「運転手さ

ん、陛下はご高令だが、昨今はご安泰で何よりだなァ」と言ったら、返事が「天皇が何だ。あんな奴がいたから戦争になって国民が苦しんだのだ」と言う。

先生は容赦ならぬ気持ちになり、車を道ばたに止めさせ、説教を始めた。開戦時、終戦時の陛下のご心労、とりわけ陛下が進駐軍司令部を訪問された時の話—マッカーサーは、てっきり陛下が自分の命乞いに來られた、と考えた。然るに陛下のお言葉は逆で、自分の体はどうなっても構わぬ。どうか国民に食糧を一と切願せられた。マッカーサーは、内々天皇の処刑は免れぬ処と考えていたのだが、陛下のお人柄に接して考えが一変し、むしろ深く尊敬するようになった。

—こうした話を30分程もしていたら、運転手

が突然「分りました。私が間違っていました」と言って深々と頭を下げた。「分ったらよいから」と東京駅へ急いだ。タクシー代を払おうとしたら、運転手が「今日はよいお話をいただきました。料金はご遠慮致します」と言って受け取らなかった。

—この話に私は深く感動した。日本人同志でもやれないような勇気ある説得を、金先生はや

ってくれたのだ。先生との出会いがなかったなら、運転手は恐らくは一生間違った物の見方を続けたに違いない。

日韓親善—それは難しくはあるが、しかし、心掛け次第で「道は近きにあり」との教えをいただいた金先生に、はるかに衷心よりの感謝を捧げる次第である。

世界社会奉仕活動について

世界社会奉仕委員長 日比野 安

世界社会奉仕 (World Community Service、略してW.C.S.)とは、世界にまたがる国際ロータリーの組織を通じて、今日の世界においてもなお各地に存在する飢餓、疾病、文盲等の非文化的不幸に対して国際的な友愛と救済の手を差し伸べ、以て国際理解と親善を深めると共に、世界人類の平和と安寧に寄与せんとする、意義深いロータリー活動の一つでございます。

具体的には、世界各地のロータリークラブが自らの地域においてそれぞれの社会福祉、社会奉仕活動を行うも、当該ロータリークラブのみの力を以てしては事足りず、広く海外のロータリークラブよりの援助を求めんとする場合、これをR.I.本部に届け出て登録を致します。R.I.本部は世界各地から寄せられたそのような案件(プロジェクト)を取りまとめ、本部に控えると共に、これを毎年度一表に集約してW.C.S. Library of Projectsと称するリストを作成、このリストを全世界の各地区、各ロータリークラブに送付の上、その救援を求め、これに応じて善意と余裕のある地区、クラブは任意にその中

のいずれかのプロジェクトに対して友情の手を差し伸べるという国際的社会奉仕活動システムでございます。

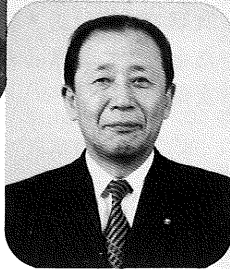
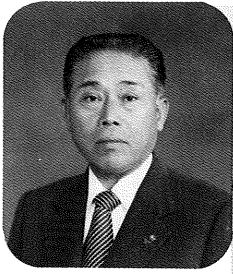
当260地区においては現在、地区全メンバーお一人年間300円づつの拠金を仰ぎ、計約160万円を源資とし、主として地区ベースでこの世界社会奉仕活動を行っており、ここ数年は毎年、韓国、フィリピン、泰国、スリランカ等、東南アジア地区のプロジェクトを4、5件づつ選択し、年額計8,000～10,000ドル程度の救援奉仕活動を行ってきておりますが、これに対してはこれまでにR.I.本部からも、またいずれの対象ロータリークラブからもそれぞれ深甚の謝意を寄せられ、大いに国際友情と親善の実を挙げてきております。

この様な意義深く、また向笠R.I.会長のテーマそのものともいえる世界社会奉仕活動に広く皆様のご理解を頂き、地区とはまた別に各ロータリークラブあるいは各分区独自にも出来る限り多くのご参加を頂き、国際理解と世界平和の推進に直接ご貢献頂ければ幸いに存じ上げます。

2月23日は世界理解と平和の日です

R.I.理事会は2月20～26日を世界理解・平和週間に指定しており、各クラブがこの週間に世界理解と平和の増進に役立つ行事を催すよう要望しております。この週間にはロータリー創始記念日である2月23日がはさまれておりますが、

理事会ではロータリー創始78周年にあたるこの日を、今度初めて「世界理解と平和の日」に指定し、各クラブがこの日を記念するのにふさわしい行事を行なうよう奨励しております。



尾張第一分区I.G.F. 開催迫る!!

ミー・イズムから ユー・イズムへ

——奉仕の原点を考える集い——

尾張第一分区代理 相羽 鋌一
ホストクラブ・実行委員長 岡山 巖

時 58.2.11(金) 建国記念日
所 ホテル・ナゴヤキャッスル 青雲の間
ホスト 名古屋和合ロータリークラブ

新年を迎え、いよいよ残る下半期に向けて、皆様それぞれの奉仕活動の展開にご活躍の事と存じます。

間もなく下期最大の共通行事I.G.F.の開催でございますが、例年にならい、情報及び教育を重視し、新人教育にも配慮した会合とすべく準備を進めております。特に今回は、ロータリーの奉仕の原点を考えるべく、「ミー・イズムからユー・イズムへ」と題しまして、活発なご意見の交換を頂きますよう新しい試みを企画致しております。

名古屋市内14クラブ、知多地区5クラブ、計19クラブから既に300余名の参加申込みを頂いておりますが、今回のI.G.F.を実り多いフォーラムとすることが、出来ますよう、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

尚、当日のスケジュールは、

第一部 講演会

「ミー・イズムからユー・イズムへ」

講師 広瀬一郎氏（東京新聞・論説主幹）

ロータリーの目標である「奉仕」を、社会経済学的にとらえてみよう。

相互依存の度合いの高い現代の経済社会は、自己本位、「私」優先の「ミー・イズム」では円滑に動かず、やがて崩壊の道をたどる。現代のアメリカ社会には、その危機が広がっている。日本も米国の後を追って、危険な社会へ進む兆候が見える。

「ミー・イズム」の反対側にあるのが「ユー・イズム」であろう。自分本位ではなく、「あなた」のために行動する。「あなた」とは近親であり、友人であり、隣人であり、さらに社会全般である。

「情けは人のためならず」という。人（他人、社会）に情けをかけるのは、回り回って自分のためになる、という意味だが、それを「情けをかけると人のためにならない」と近年の若者は解するという。「ミー・イズム」の片りんである。「奉仕」を「ユー・イズム」と解し、「ミー・イズムからユー・イズムへ」と提唱したい。

第二部 全体討議

総てのクラブの会長、幹事さんにステージの特別席にご登場頂き、討論会にご協力をお願い致します。場内に電光表示装置をセット致しまして、コーディネーターがいくつかの質問を致しますので、皆様はどうか本音で解答者用のボタンを押して下さい。瞬時にその解答が電光で表示されます。それを話題に場内の皆様にもご討論頂き、アドバイザーの方々にコメントを頂戴するという会議形式でございます。

初めての試みでございますので心配な点も沢山ございますが、皆様方の友情溢れるご協力によりまして、実り多い討論会にしたいと念じております。

では、2月11日、ホテル・ナゴヤキャッスルでお会いしましょう。



分区代理の感想と分区分割

尾張第二分区代理 福田 浩三

分区代理という大役を仰せつかって半年たった今、おとそ気分で、思いつくままに感想を述べさせていただきます。

分区代理の感想 分区代理というお仕事が大変すばらしく、私にとって得がたい経験を与えて下さったことを、まずもって感謝したいと思います。

多くのクラブを訪問できました。皆様の温かい友情に迎えられて楽しいひとときでした。各クラブとも立派に運営され、奉仕活動も盛んですが、それぞれに特色があって、いろいろ知見をひろめ得たこと、会長、幹事はじめ皆さんとのふれ合いから、人間的な勉強もさせて頂いたこと、何年ぶりかの奇遇を、上司 旧友 後輩と喜び合えたこと、各種の会合に出席できて、新しい知り合いを生じ、また諸先輩から教えられる点が多々あったこと、すべてが感激でした。

大隈ガバナーは、一中八高の大先輩であって、何かとご教導頂いていることを、心から有難く思っております。今の時代の変化に即したご方針とか、重箱の隅をつつかない(大賛成)、実質的で内容の深い、スピーディな公式訪問は、各クラブ、特に会長、幹事さんにとっても、爽やかな思い出であろうと信じます。

分区代理の苦しみは、多忙には慣れているとはいっても、同一時刻に2ヶ所にはいられないこと、訪問業務を全うするには、自ずから何かを犠牲にしなくてはならないということでした。

ガバナーのお忙しさ、東奔西走の過密スケジュールを見ればまだ楽な方とは思いますが、それでも、7・8・9月などは、病院長兼外科医兼運転手という私にとっては、かなりの負担でした。(外見上は余裕綽綽を装いながらも)

しかし、パスト分区代理の諸先輩が、立派にやってこられたあとを汚してはならじと、奉仕の心をかきたてた次第です。これも貴重な経験であったと思います。

分区分割について

尾張第二分区は、愛知県の北部、名古屋市の北半分を包む様に東西に広がっています。

手続要覧によると、地区は、その地理的状态及びその広さにより、3クラブから7クラブの基準で区分されるとあります。現在、当分区には16クラブあります。

①これだけ多くて広すぎると、分区代理が全クラブを掌握して、ガバナーを補佐することは困難であり、負担がかかりすぎます。

②I.G.F.が最近盛大化して、多大の費用と労力が必要になってきました。その内容も、近隣都市の連合という親密感がなく、地域特性もなくなってきた様です。従って、もっとせまい地域の少数のクラブで行われるべきと考えます。

③分区内の現状をみると、歴史的な親子の関係とか地域の特色から、6クラブとか3クラブで定期的な会合をもっておられる。

以上の観点から、分区を分割すれば、メリットとして、分区のまとまりが良くなり、I.G.F.の主旨が生かされ、分区代理の負担が軽くなって、より良く任務が遂行できると思えます。

昨年11月12日、当分区全クラブの会長幹事会を開催致しました。大隈ガバナーにも臨席をお願いして、真剣な討議を行いました。

上述のメリットに対して、デメリットとしては、分区代理が増える、I.G.F.新会員研修会などの行事が早く回ってくる、パネリストもたびたび回ってくるという声がありました。しかし、これらは却ってメリットとも申せましょう。

結局、出席者全員の賛意を得ましたので、各クラブに持ち帰って討議の上、文書による賛否の回答を求めたところ、12月中旬までに、全16クラブより分割賛成の回答を得ました。

ここにおいて、大隈ガバナー、地区諮問委員会はじめ諸先輩のご賛同を得るならば、尾張第二分区は次年度、即ち昭和58年7月1日より、次の如くに分割させて頂く次第であります。

- 東尾張分区…瀬戸、犬山、江南、小牧、春日井、尾張旭、名古屋空港、瀬戸北、岩倉。
- 西尾張分区…一宮、津島、尾西、一宮北、稲沢、あま、西春日井。

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名		日付	クラブ名		日付	クラブ名	
9/1	名古屋守山	1名 300,000円	10/18	春日井	1名 300,000円	11/15	名古屋東南	200,000円
1	豊橋	2名 50,000円	18	春日井	59,000円	16	岡崎	1名 50,000円
3	岡崎南	20名 950,000円	18	豊田東	1名 300,000円	16	豊田東	27名 430,000円
3	田原	1名 30,000円	20	名古屋名北	100,000円	17	岡崎南	2名 150,000円
6	名古屋中	300,000円	20	名古屋瑞穂	1名 300,000円	19	西春日井	26,480円
6	豊橋北	1名 30,000円	20	岡崎南	2名 60,000円	22	佐久	1名 150,000円
16	岡崎	1名 10,000円	20	豊橋	100,000円	22	岡崎	1名 10,000円
17	東知多	6,680円	23	豊橋北	1名 100,000円	22	豊橋南	2名 60,000円
17	名古屋空港	1名 24,000円	23	豊橋南	6名 210,000円	23	名古屋千種	100,000円
17	名古屋空港	86,147円	25	名古屋和合	1名 180,000円	29	名古屋守山	114,000円
21	一色	1名 20,000円	26	岡崎	2名 40,000円	29	豊橋北	8,000円
21	岡崎東	50,150円	26	田原	1名 100,000円	30	豊川	1名 30,000円
22	一宮	1名 150,000円	27	あま	73,000円	2~30	岡崎東	8,807円
28	岡崎	2名 20,000円	27	名古屋名東	15,907円	12/6	田原	1名 50,000円
29	豊川	2名 60,000円	27	田原	1名 100,000円	10	豊橋	1名 300,000円
10/1	一色	300,000円	27	豊橋	1名 300,000円	10	豊橋南	1名 30,000円
1	豊川	1名 30,000円	28	名古屋空港	2名 39,853円	11	名古屋名東	1名 150,000円
2	岡崎	76,500円	11/1	佐久	1名 100,000円	11	南佐久	60,000円
5	名古屋守山	1名 300,000円	2	岡崎	2名 20,000円	13	江南	132,000円
5	岡崎東	4,510円	4	塩尻	42,500円	14	あま	2名 100,000円
6	一宮北	72,000円	5	春日井	1名 300,000円	14	豊田	1名 50,000円
7	豊橋北	1名 8,000円	5	小牧	1名 200,000円	15	常滑	1名 200,000円
9	東知多	1名 300,000円	6	名古屋南	1名 30,000円	16	名古屋空港	1名 30,000円
9	名古屋和合	55,000円	6	豊橋南	7名 210,000円	17	名古屋	214,000円
9	豊橋北	1名 50,000円	6	上田東	1名 90,000円	17	豊橋南	1名 30,000円
12	名古屋東南	10,000円	6	西尾	18名 410,000円	18	碧南	1名 150,000円
12	田原	1名 300,000円	10	常滑	100,000円	23	上田東	6名 180,000円
13	岡崎	1名 10,000円	11	一宮	100,000円	27	豊橋北	8,000円
14	松本南	26,850円	11	名古屋東	1名 100,000円	28	小諸	26名 1,320,000円
16	東知多	4,668円	13	蒲郡	1名 30,000円			
18	上田東	1名 30,000円	13	名古屋中	100,000円			

米山記念奨学会に関する広告の参考例

ロータリーの活動の中で、ロータリー財団奨学金や米山奨学金は大きなウェイトを占めている。これらの活動は国際理解と親善の上で大きく寄与しているにもかかわらず、地域社会にはまだあまり知られていないのが実情である。

この度、ロータリーの広報活動の一環として第275地区の前米山奨学委員長さんが、米山記念奨学会に関する広告の参考例を作成された。

ロータリアンの活動を一般市民に知ってもらうために、地方新聞等に宣伝記事を掲載してはどうかとの声があがっており、参考例としてご利用頂けたら幸甚である。

● 広告型式の例

在日外国人留学生に奨学金!!

ロータリー米山記念奨学会

58年度 奨学生募集

日本以外の国籍を有し、主としてアジア、その他のロータリークラブのある地域から来日している留学生。(奨学金月額8万~9万円)

本奨学事業は、日本の全ロータリークラブが、その理想とする国際理解と親善に寄与する目的で設立されたものであり、日本の全ロータリアン86,700名の継続的寄付によって運営されており、1958年発足以来、世界46ヵ国から1,733名(累計3,307人)の留学生のお世話をしています。

詳細については最寄のロータリークラブ、または、下記へお問合せください。

財団法人
ロータリー米山記念奨学会
〒105 東京都港区芝公園2-6-3
abc会館ビル8階
TEL. 03-434-8681

昭和57年12月度

分區別会員数及び出席率

昭和57年12月31日現在

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前 会 員 数 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	62	95.77	5	62	0
	半 田 南	44	98.30	4	44	0
	東 知 多	45	95.21	4	47	- 2
	名 古 屋	221	97.34	4	221	0
	名 古 屋 東	96	98.91	4	96	0
	名 古 屋 北	98	99.57	5	99	- 1
	名古屋名北	50	100.00	5	50	0
	名古屋名東	54	100.00	4	54	0
	名古屋南	117	99.62	5	118	- 1
	名古屋港	104	100.00	5	104	0
	名古屋瑞穂	57	99.30	5	57	0
	名古屋守山	79	98.14	4	79	0
	名古屋中	97	99.21	4	98	- 1
	名古屋西	144	97.59	5	144	0
	名古屋東南	83	100.00	5	83	0
	名古屋和合	72	100.00	5	72	0
	東 海	51	96.47	5	52	- 1
	常 滑	58	94.76	5	59	- 1
	名古屋千種	40	99.38	4	40	0
	19C	1,572			1,579	- 7
尾 張 第 二 分 区	あ ま	73	100.00	4	73	0
	尾 西	53	97.50	4	53	0
	一 宮	83	99.68	4	82	+ 1
	一 宮 北	75	98.65	5	75	0
	稲 沢	51	100.00	5	51	0
	犬 山	74	100.00	4	74	0
	岩 倉	30	97.55	4	30	0
	春 日	80	100.00	5	81	- 1
	小 牧	64	100.00	5	64	0
	江 南	66	100.00	5	66	0
	名古屋空港	66	100.00	4	66	0
	西春日井	70	96.78	4	70	0
	尾 張 旭	46	98.70	5	46	0
	瀬 戸	75	98.16	5	76	- 1
	瀬 戸 北	52	100.00	4	52	0
	津 島	71	100.00	5	71	0
	16C	1,029			1,030	- 1
三 河 第 一 分 区	渥 美	57	96.39	5	55	+ 2
	蒲 郡	69	95.97	4	69	0
	奥 三 河	50	94.50	4	50	0
	新 城	48	95.83	5	48	0
	田 原	64	97.17	5	64	0
	豊 橋	113	99.63	5	114	- 1
	豊 橋 北	98	100.00	4	99	- 1
	豊 橋 南	66	100.00	4	66	0
	豊 川	80	97.07	5	80	0
	9C	645			645	0

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前 会 員 数 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	70	98.93	4	70	0
	碧 南	70	98.52	5	71	- 1
	一 色	56	87.20	5	56	0
	刈 谷	83	99.28	4	83	0
	西 尾	70	97.74	4	70	0
	岡 崎	89	99.01	5	88	+ 1
	岡 崎 東	60	98.94	5	59	+ 1
	岡 崎 南	77	99.20	5	75	+ 2
	高 浜	44	98.89	4	45	- 1
	豊 田	86	99.76	5	89	- 3
東 北 信 分 区	豊 田 東	52	98.40	5	52	0
	豊 田 西	75	98.97	4	75	0
	12C	832			833	- 1
	軽 井 沢	38	98.68	4	38	0
	小 諸	58	91.03	5	58	0
	丸 子	40	91.50	5	40	0
	南 佐 久	27	95.38	4	27	0
	長 野 野	92	96.43	4	92	0
	長 野 東	74	96.59	5	77	- 3
	長 野 南	32	99.20	4	32	0
南 信 第 一 分 区	中 野	47	93.62	5	47	0
	佐 久	39	90.00	5	39	0
	須 坂	38	94.60	5	38	0
	戸倉上山田	41	91.70	5	41	0
	上 田	57	98.95	4	57	0
	上 田 東	49	97.50	5	49	0
	13C	632			635	- 3
	茅 野	26	86.15	5	26	0
	富 士 見	32	88.13	5	32	0
	白 馬	41	97.87	4	41	0
南 信 第 二 分 区	木 曾	48	89.40	4	49	- 1
	松 本	74	99.71	5	74	0
	松 本 南	78	100.00	4	79	- 1
	松 本 西	48	97.93	4	48	0
	岡 谷	60	94.16	4	62	- 2
	大 町	61	92.40	5	62	- 1
	塩 尻	39	100.00	5	39	0
	諏 訪	61	94.67	5	60	+ 1
	11C	568			572	- 4
	飯 田	83	100.00	5	80	+ 3
南 信 第 二 分 区	飯 田 南	75	100.00	5	74	+ 1
	飯 田 島	35	100.00	4	35	0
	飯 田 那	82	100.00	5	80	+ 2
	駒 ヶ 根	59	100.00	4	60	- 1
	松 川	52	97.95	5	52	0
	箕 輪	29	93.79	5	31	- 2
	辰 野	50	100.00	5	49	+ 1
	8C	465			461	+ 4
	計 88 クラ ブ	5,743			5,755	-12

地区ニュース

★1983～84年度ガバナーノミニ事務所開設

奥沢ガバナーノミニ事務所は下記の通り開設いたしました。

記

名称 国際ロータリー第260地区

ガバナーノミニ事務所

住所 〒390 長野県松本市中央1-9-18

松本商工会館内(2F)

電話 (0263)36-6588

(0263)32-0517 (ガバナーノミニ宅)

なお、昭和58年7月1日より上記事務所が国際ロータリー第260地区ガバナー事務所となりますのでご了承下さい。

お知らせ

●1983～84年度交換学生の出発予定は下記の通りです。

○3月出発(豪州)

R.C.

派遣先

辻 摂子(名古屋西) D.975 ニューサウスウェールズ州

堀部 明子(木 曾) D.975 〃

兵藤 仁美(高 浜) D.952 南オーストラリア州

田中 宏光(長 野) D.963 クイーンズランド州

○3月出発(米、加)

鍛持 基子(長野東) D.555 カナダマニトバ州、サスカチュワン州

奥田 誠(安 城) D.555 〃

伊藤美知子(東 海) { Central States(米、加複合地
加藤 孝良(佐 久) 区)、(オンタリオ、シガン、インディ
アナ州等)

児玉 敏子(大 町) D.595 アメリカ、ミネソタ州

稲葉 匡信(半 田) D.595 〃

○8月出発(米、加)

百瀬美佐子(松本 西南) D.552 U.S.A.ニューメキシコ州

小林 園子(箕 輪) D.550 〃 アリゾナ州

坂本 真理(名古屋東南) D.730 〃 ペンシルバニア州

松井 美樹(名古屋港) D.502 米、加複合地区(ブリテ
イッシュ コロンビア州、
ワシントン州)

北田 寿美(茅 野) D.503 米、加複合地区(ワシ
ントン州、アラスカ、ユー
コン等)

●1982-83年度I.G.F.日程

開催 場 所	分 区	ホスト R. C.	開催地
2月11日(金) ホテルナゴヤ キャッスル	尾張第一分区 (相羽分区代理)	名古屋 和 合	名古屋
2月27日(日) 瀬戸市文化セ ンター	尾張第二分区 (福田分区代理)	瀬戸北	瀬 戸
3月6日(日) 名鉄岡崎ホテ ル	三河第二分区 (平岩分区代理)	岡崎南	岡 崎
4月10日(日) 赤穂公民館	南信第二分区 (久保田分区代理)	駒ヶ根	上穂南
4月17日(日) 県中野勤労者 福祉センター	東北信分区 (矢島分区代理)	中 野	中 野
4月24日(日) 塩尻市総合文 化センター	南信第一分区 (山岸分区代理)	塩 尻	塩 尻
4月29日(金) 伊良湖ビュー ホテル	三河第一分区 (宮地分区代理)	渥 美	伊良湖

おめでとう

ポール・ハリス・フェロー

12月10日 石川 大蔵君(半 田)

12月14日 鈴木 隆佳君(名古屋和合)

12月27日 臼井 将雄君(尾 西)

12月31日 市川 達郎君(尾 西)

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月20日 高波 兼雄君(長野東)

12月26日 安井 久夫君(豊 橋)

12月29日 五明得一郎君(名古屋)

12月31日 柳原 六郎君(名古屋)

1月4日 河村 増一君(名古屋西)

橋シリーズ⑧ (ターゲットに因んで橋の写真を連載します)

北アルプス上高地 河童橋

雪解け水の梓川の清冽な流れにかかる河童橋、上高地での第一の魅力的な眺めは、この橋の上に立って一望する、岳川谷を中心とした、穂高山群の眺めで、3,000m級の頂きや岩陵が近寄り難い偉容をもって、空にそそり立っている。美しい上高地の平の柔かい自然と、この穂高の山容こそ、北アルプスの圧巻である。

(南信第一分区代理 提供) (表紙に掲載)